



くらはし

舞鶴市立倉梯小学校

学校だより

令和4年4月25日 No2

心の種を蒔く

学校が始まり、3週間。早々からの閉鎖、行事の変更など保護者の皆様にはずいぶんご心配をおかけしています。引き続き、様々な方法で対策をとりながら子ども達の学びを継続していきたいと考えています。大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

赴任して3年目の春となりました。年間を通して、時間を見つけては教室を回って児童の様子や授業を見るのを日課としています。移動教室の際に空き教室になっているときはそっと入って教室の机や椅子の様子を見るようにもしています。先日も学年全てが空き教室となっていました。その全ての教室の椅子と机がきれいに整えられていました。学年が一つ上がり、気持ちが引き締まっているのでしょうか。そんな時は、教室の黒板の隅に「椅子と机がきれいで嬉しいです」と書いておきます。「嬉しいです」と書くのが常で、決して評価をしているわけではありません。ちょっとした変化に気付いてそっと返事を返すことを続けていくうちに子ども達も気が付いてくれるのか、「書いてくれた?」と聞いてくれる子もあり、更に嬉しくなります。傘を巻いてしまうことも昇降口での新たな伝統となり、すでに1年生に引き継がれています。

心掛けているのは「押し付けない」けれど「見守っていることを言葉で伝える」こと。これは道徳の授業を続けている中で自分に言い聞かせてきたことでもあります。教科化ではない時代、「道徳で教えることは今すぐに実行できなくともいつかは理解して、自分のものにしてくれたらいいので心に種を蒔きなさい」と教えられました。これを西舞鶴の舞鶴公園にある「心種園」の由来でもある細川忠興公の和歌「古へも今もかはらぬ世の中に 心のたねをのこすことの葉」と共に教わり、言葉で伝えることの大切さも学びました。

学級や学年、先生が変わる新学期。感染拡大防止を踏まえた多くの制限の中、気持ちも新たに頑張る子ども達を応援しています。そして、子ども達に力を付けるための日々の地道な取組は継続していきたいと考えています。保護者の皆様や地域の皆様にもご理解いただき、今後とも教育活動にご協力をお願いいたします。

校長 亀井 貴子

お礼

新年度から登校時刻を遅らせたり、水曜日の下校時刻を早めたりと教育課程に変更を加えております。保護者の皆様にはご理解をいただき、本当にありがとうございます。

生まれた時間を有効に活用し、子ども達に向き合う時間が増えるようにしていきます。

学校の近所の方に植えていただいた紫陽花の小さな挿し木から可愛い芽が出てきました。肥料を蒔いたり草引きをしたりと世話までしてくださっています。ありがとうございます。

ご報告

長年本校の課題でありました校舎の大規模改修がようやく予算化されました。主に東校舎・南校舎となりますが、今年度は設計や調査の年となります。老朽化に加え、トイレや教室の段差、ランドセルロッカーの高さなど子ども達には不便をかけています。令和5年度の大規模改修でようやく解消される見込みとなりましたので、今暫くご不便をおかけしますがご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

